

★神戸の催し物4月ご案内

〈音楽〉

★ふつくえんだフォークコンサート

1日(火) 2時 芦屋ルナホール

★ロバート・フラック

2日(水) 7時 神戸国際会館

S・三〇〇〇円 A・三〇〇〇円

B・二五〇〇円 C・二〇〇〇円

★平岡寛一ファミリーコンサート

4日(金) 2時 神戸国際会館

民音 大人・七〇〇円 小人・四〇〇円

★土曜コンサート

創るひきき美しみの会

5日(土) 6時半 県民小劇場

★ウイーン少年合唱団

7日(月) 6時半 神戸国際会館

S・三〇〇〇円 A・二五〇〇円

B・二〇〇〇円 C・一五〇〇円

★バートラフ・フデチェック

バイオリンリサイタル

9日(水) 6時45分 神戸文化ホ

ール 神戸音楽友の会 A・二〇〇〇円

B・一五〇〇円 C・一〇〇〇円

一般・A・二五〇〇円 B・二〇〇〇円

★オルゲスタ

フルビオ・サラマンカ

9日(水) 6時半 神戸国際会館

民音 会員・一三〇〇円 一般・一七〇〇円

★北山千鶴子モダンダンス「風と光」

10日(木) 6時半 芦屋ルナホ

ール 一般・一五〇〇円 学生・一三〇〇円

★シルドベルガー少年少女合唱団

11日(金) 6時 神戸文化ホ

ル 一〇〇〇円 子供・八〇〇円

★フランクフルセルオーケストラ

12日(土) 6時半 神戸国際会館

S・二九〇〇円 A・二五〇〇円

B・二二〇〇円 C・一五〇〇円

LS・四五〇〇円

★神戸山手演奏協会新人演奏会

16日(水) 6時半 県民小劇場

★西城秀樹オムニステージ

19日(土) ①2時 ②5時 神戸

国際会館 S・二五〇〇円 A・二〇〇〇円

★土曜コンサートデュオコンサート

19日(土) 6時半 県民小劇場

★セルジオオマネスとブラジル77

20日(日) 2時 神戸国際会館

神戸音楽友の会 会員/A・三〇〇〇円

B・二五〇〇円 C・二〇〇〇円

D・一五〇〇円 一般

A・三五〇〇円 B・三〇〇〇円

C・二五〇〇円 D・二〇〇〇円

★厳本真理弦楽四重奏

20日(日) 2時 芦屋ルナホ

前売・一五〇〇円 当日・一八〇〇円

★ザ・ムッシュ・リサイタル

20日(日) 12時 神戸文化ホ

前売・一〇〇〇円 当日・一二〇〇円

★アリス・リサイタル

20日(日) 3時 神戸文化ホ

前売・一三〇〇円 当日・一五〇〇円

★青江美奈・水上勉の世界をうたう

21日(月) 6時半 神戸国際会館

民音 一五〇〇円

★森進一リサイタル

25日(金) ①2時 ②6時 神戸

文化ホ S・三五〇〇円

A・二九〇〇円 B・二〇〇〇円

★アレクシス・ワイセンベルク

ピアノリサイタル

27日(日) 6時半 神戸文化ホ

ール S・三八〇〇円 A・三〇〇〇円

B・二五〇〇円 C・二〇〇〇円

D・一五〇〇円

★筑前琵琶演奏会

29日(火) 11時 神戸文化ホ

ル 無料

★都山津神戸幹部会尺八華曲演奏会

29日(火) 11時 神戸文化ホ

ル 五〇〇円

★創作オペラ「葦」

「六の宮の姫君の巻」

「妙音へのへの巻」



創作オペラの会「葦」練習風景

18日(金) 6時半 19日(土)

4時半 芦屋ルナホール 一五〇〇円

★ヒューマンフェスティバル

「芦屋川」

20日(日) 6時半 芦屋ルナホ

ル 五〇〇円

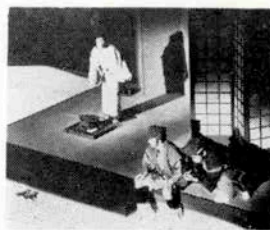
★山本安英の公演「夕鶴」

22日(火) 23日(水) 24日(木)

25日(金) 28日(月) 6時半

26日(土) ①2時 ②6時半

神戸文化ホ 券 一四〇〇円



「夕鶴」つう (山本安英・左)

〈その他〉

★花柳芳五郎会

6日(日) 10時 神戸国際会館

★幸福亭松鶴独演会

12日(土) 6時半 芦屋ルナホ

前売・一三〇〇円 当日・一五〇〇円

★名画観賞会「ジャックと豆の木」

13日(日) ①10時 ②1時 ③3時

10分 芦屋ルナホール 二〇〇円

★市民映画劇場「にっぽん昆虫記」

16日(水) 18日(金) 6時半

神戸文化ホ 三〇〇円

★仁鶴お笑い大作戦

18日(金) ①2時 ②6時半 神

戸国際会館 民音 一〇〇円

★藤間流斎寿会

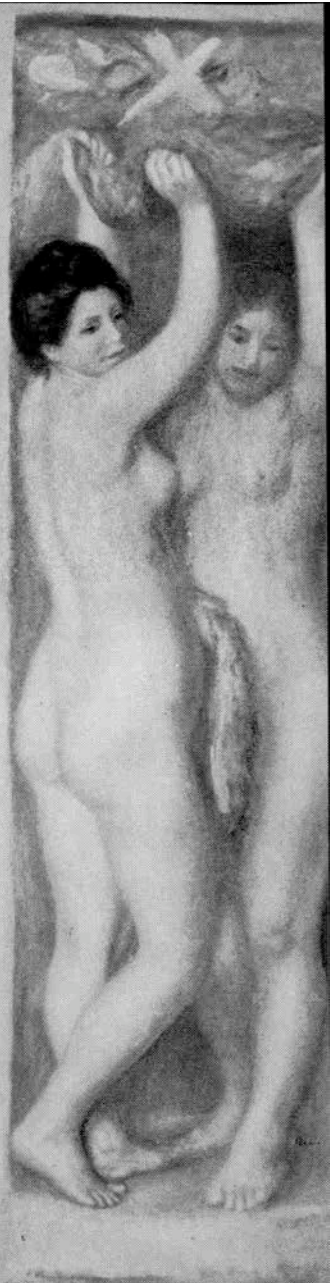
19日(土) 12時半 神戸文化ホ

ル 一五〇〇円



昨年の公演より
「色好み平中の巻」

★神戸っ子読者4名様
新しい試みのオペラ集団として好評の創作オペラの会「葦」の第二回公演。続・今は昔の物語。(第三回ルナフェスティバル・4月18日19日各2名様ご招待)ご希望の方は、集書に(電話不可)住所氏名・年令・職業・TELをお書きの上、〒650 生田区東町一三〇の一 大神ビル7F 月刊神戸っ子編集室まで 先着順



ルノワール「人像柱」

ニースから美術展が来る ルノワール・マチス・デュファイ

伊藤 誠

(神戸新聞文化事業部長)

仕事でパリ・ニース間を何度か往復した。その都度パリ空港の待合室で感心したのが、乗客のほとんどが老人だったこと。季節が冬だったせいだろうが、さすがと思った。冬は避寒、夏は海水浴、そのほか映画祭、音楽祭カーニバル etc と、ニースを中心とするコートダジュール(紺碧海岸)地方は、まさにヨーロッパのリゾート地帯。そしてまたこのあたりには、個性豊かな地方美術館が多いのである。

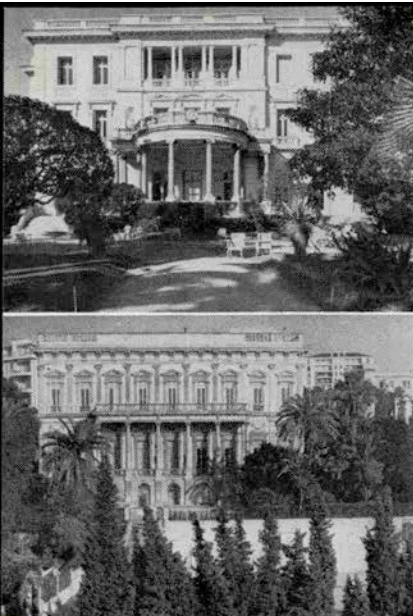
こんど兵庫県立近代美術館(神戸王子動物園南側)で「南フランス・ニース美術館展 ルノワール・マチス・デュファイ」を、同館と神戸新聞社が主催して開く。(4月12日〜5月11日) 作品を借用するのは、そのコートダジュールの美術館のうち六つから。そこで軸になるニースの三美術館を紹介してみよう。

ニース市内には比較的まとまった美術館として、マッ

セナ、シエレ、マチスの各市立美術館と、国立のシャガール美術館がある。シャガール美術館は一昨年秋に完成した新しい美術館で、すべて聖書に取材した作品を列べている。まことに特色ある内容なのだが、開館後、間がなく作品借用は不可。

市立の三美術館は、マッセナが市のメインストリートの海岸通り、シエレが海岸からちよつと奥まった静かな住宅地、そしてマチスが同市の山手で市を見下ろす丘陵地帯、と三館三様の場所にあつて、市内見物を兼ねて見学ができる。念のためニースの人口は約四十万。

マッセナにはルノワール、モネ、シスレー、ブーダンといった印象派画家の部屋や、現代作家の部屋などがあるが、圧巻はデュファイ。もう十年近く前になるが、美術記者当時、ヨーロッパの各国美術館をまわつて紙上で報告したことがあつた。各館特色のある画家を中心に紹介



上・マッセナ美術館 下・シェレ美術館



デュフィ「ニースの花火」

したのでしたが、実は大美術館になるほど数が多いと取り上げる画家に弱ったものだった。世界の近代美術に關しては現在最高の充實を誇るパリ国立近代美術館では、ピカソあり、マチスあり、ブラック、レジネ、ボナール、モジリアネ etc と目移りして困り、結果デュフィを選んだ。目白押しの作品群の中で、一番フランス的エスプリを持ったさわやかな作家と判断したからだ。奔放、軽快、そして明るい。——そのデュフィが、ここにもずらり。しかもニースに取材した作品が多く、まことにこれはニース市のすばらしい財産だと思った。

シェレ美術館の名は、十九世紀末にこの地に住んで活

躍した画家に由来している。女性像を描かせれば当代随一と騒がれたシェレだが、今から見るとロココの流れを受けて幾分甘味が勝っている。しかし、アカデミズムに走らず、印象派のモネらを友人に持ちながらその方向へも進まず、頑固に我流を通したのは見事。特にその石版画ボスター作品は、近代ボスターの創始者¹と言われるほど。ここにはまた特異な幻想画家モッサをはじめ、ニース派と呼ばれる作家の作品が多く保存されている。

マチス美術館のあるあたりは、ローマ時代の遺跡が多く、それらを含めて広々とした公園になっている。その一隅に僧院があって、この墓地にマチスとデュフィも眠っている。マチスはこの公園のすぐ側の住まいで生涯を終えたのだ。

マチスの名は今さらうんぬんするまでもない近代美術界の巨匠。どういいうわけかこの油絵には、初期のころのものが多く、晩年の切り絵や、近郊パンスの尼僧院のために制作した壁画や僧衣類の原画もある。なかなかすぐ見応えするのが、膨大な数のデッサン、版画類。ほとんどが女性像を追っかけて、似たような顔や姿態、一筆描きのようなスピディーなタッチでいながら、まるで見飽かせない。人間とはこれほどまでに面白いものか、と絵画の世界の不思議さに感心する。

今度の展覧会には、以上三館のほかに、アンチーブ市のグリマルディ、カーニユ市のルノワール記念、カーニユ各美術館からも貴重な作品をお借りする。神戸を中心とする兵庫県瀬戸内沿岸と多少、趣を同じくする南フランス・ニースを中心とするコートダジュールからの、すばらしい贈り物を期待いただきたい。

入場料 一般 五〇〇円(三五〇円)

大・高 四〇〇円(二五〇円)

中・小 二五〇円(一〇〇円)

——カフコ内は前売り・団体料金——

愛読者一〇名様を、神戸新聞社の好意によりこの「南フランス・ニース美術館展ルノワール・マチス・デュフィ」にご招待致します。編集部あて葉書に美術館とご名記の上、お申し込み下さい。

※切は四月二〇日



●Fashion Life in London ①

アフタヌーン・ティをどうぞ

柴田 啓嗣

〈柴田商事株式会社専務〉

ちょうど一年前の4月17日、

僕はロンドンに着いた。日本と同じように春であった。

「氷の一月、雪の二月、風の三月…」と歌にもあり、寒く暗い冬が続いたロンドンも、この頃、「獅子のごとく」春がやってくる。毎日気温ぐれな天候で、にわか雨がいつ降り出すかわからない。ロンドンは都心でも公園が多い。シャワーに洗われると、この公園の緑がいちだんと輝きを増す。クラシックな赤レンガ造りの建物との絶妙なコントラスト――。

僕は、まず、正統な英語を学ぶため、ディビス・スクールに通い始めた。おもにスイス、フランスといったヨーロッパからの外人が学ぶこの学校は、一クラス十四、五人。女性が多い。週五日の授業はヒアリング、発音、文法のペーパーテストetc. ここで戸惑ったのは、僕が今まで習ってきた英語がほとんど役にたたなかったことである。とくにヒアリング。ペーパーテストはクラスでもいつもいい成績だったのに、ヒアリングは全くダメであった。キングズ・イングリッシュは、僕の習ったアメリカ英語とは発音も用語も、全然別物のようなのだ。たとえば「トイレット」は米語。イギリスでは「ラヴアトリー」か、上流階級ではフランス語からきた「ルー」ということばを使う。



ディビス・スクールの6カ月の授業を修了してお別れパーティ

イギリス人はアメリカ英語を嫌い、さらに、階級によって英語の言い回しやことばも違っている。だから話すことばで、その人の出身が、いいか悪いかわかってしまう。そのうえオックスフォードやケンブリッジといった名門の大学では、彼らだけに通用する新しい言い回しを用い、それを知らないことにはこっちが恥をかくというからやっかい。地下鉄のなかでは友人どうしでもあまりしゃべらないのは、しゃべると周囲に自分の出身がバレてしまうからだという説もあるほど。

僕は最初からことばの困難に出くわした。ある時、ほうれん草がどうしても食べたくなった。レストランで舌びらめのクリーム煮を注文したときのことだ。自炊や外食ばかりで、緑の野菜に欠乏していたせいだろう。つけ合せにほうれん草を頼みたかった。

ところが「ほうれん草」が出てこない。

「グリーンで：ウィジャブルで：」。ほらほら、アレ。だいたい、ほうれん草なんて簡単明瞭なものほど、他のどんなことばでも説明しにくいものなのだ。僕の頭のなかで、バタいためされたほうれん草が、もがく。

ふっと、「ポバイ：」。

「オー、イエース、スピニッチノ」

ポバイはポバイのジュスチャーをしてみせ、安堵の色

をみせて下がった。まもなく、うまそうなほうれん草の乗った皿が、無事、僕のテーブルに運ばれてきた。

ことばの問題は、この頃、常に僕について回った。

イギリス人は、いったいに恥ずかしがり屋だが、いったん打ちとけると、大変親しみをみせてくれる。

ディナー・パーティの席で、ウーマン・リブの話がはずみ、典型的なる英国紳士M氏が、新入りの僕に、イギリス女性のくどき方について教授してくれた。日本に比べて非常にスピーディ、かつ直せつなくどき方である。ところが、これも、相手女性の出身クラスにより、その手を変えなければいけないというから、さすがイギリス。



ロンドンには都心でも緑が多く美しい都会。左・筆者。

M氏『まず一般庶民の女性をくどく場合ですが……』

と、指の腹で鼻の下をなでながら、

『Can I see your face? (貴女のお部屋を訪ねてもよろしいでしょうか) こう尋ねます。で、返事がイエスなら、これはしめたもの。その後のことも了解したということ。大成功。自信を持って先に進みなさい。』

次に、彼女が上流階級の娘なら、一流のレストランに誘い二人で食事をし、ダンスをしてうっとりしたところで、やさしくキスをして言います……『Darling, Please for god's sake spend night with me?』

これは、神のお恵みのもと、二人で夜をすごしましょうというわけ。ロンドンの紳士淑女は、ずいぶんと信仰の厚い?!

M氏は読ける。

『ある人は、Could I have late drink with you? late drinkは夜寝る前のお酒のことですから、これもなんとでも意味のとれる誘い文句です』

『日本では夜明けのコーヒーといいますが……』

『我々の習慣では、朝コーヒーは飲みませんから……たいていミルクをたつぷり入れたモーニング・ティですな』

『それじゃあ、モーニング・ティを二人で飲みましょうと誘うのはどんなのですか?』と、間抜けた顔で僕。

『イヤ、きみ、イギリス娘相手では、モーニング・ティは、とてもムリではないですかね。きみがグツタリと目を覚まして、さあ、お茶を飲みましょうという頃は、きつともう陽も高い、アフタヌーンでしょうよ』

『……』

柴田啓嗣さんは昨年暮れ、九カ月のロンドンでの生活を終え神戸に帰国。ロンドンでは、イギリス英語を勉強すると同時に、柴田さんの父上の経営される会社が、世界最大のウールン・マーチャント「ドーマル社」の日本におけるエージェント、および合併会社であるという、いわば仕事上のパートナーといった関係で、ドーマル社の方から六カ月のトレーニングを計画してくれ、彼はそれに従い、ロンドンでのウェイ・オブ・ライフからファッションまで広範囲に勉強したという。25歳の若い彼が見たロンドンは今どんな様子だったか——エリザベス女王の主催するカクテル・パーティにも出席するなど、貴重な体験をした彼に、数回にわたって語ってもらいます。文責＝編集部。(元町・時雨茶屋にて)



動物園飼育日記 — 107 — 亀井一成



ないしょ話シリーズ <28>

ペンギンの再婚



いま私はペンギンご夫婦の興信所みたいなことをやっている。

確かにオス、メス同色の鳥は夫婦共同で卵を抱き、雛を育てる。そのペアは生涯、離婚も「再婚」もしないという「一生型夫婦」だという説がある。だが、果たしてペンギン一家はどうであろうか。その定説をわが眼で確かめてみたい。いや、ひょっとしたら、つれあいを交えているかも知れない。そんな興味が働いたからで、目下彼らの行動を「張りこみ」ながらのぞき続けている。

〔リーダーのこと〕

十七種あるペンギン、みなそれぞれ特色ある顔や姿をもつが、その彼らを雑居させると不思議なくらい、他の鳥、つまりよそ者を寄せつけず、同じ種類のものばかりが寄り集まる傾向がある。しかも一羽の誰かが歩けば、みないつせいに後を追ひ、陸にあがればぞろぞろかたまつてからだを休める。そしてまた、誰かが先じてとびこまなかったら、後のものみな尻こみしてプールになかなか入らない。下手にとびこめばシャチャやアザラシの待ちぶせ攻撃をうける。つまり野生での警戒行動をちらつとぞかせるひとこまだ。

彼らを屋外に連れ出し歩かせてみると方向感覚のすぐ

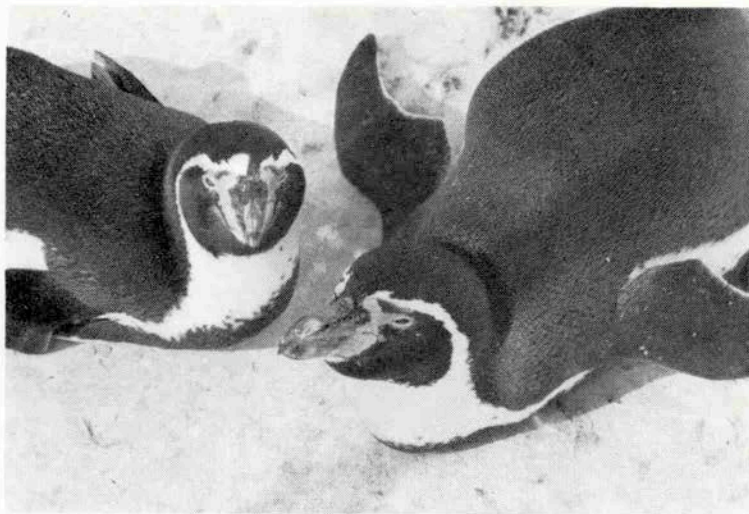
歩くにも、陸でからだを休めるにも、リーダーペンギンの後を追ひ、ぞろぞろである。

れたペンギンは、一／二回の誘導で迷うことなく、かなりの道のりを記憶して飼育場に戻ってくるが、その行軍の隊列にもまた、何時もきまった誰かが、先頭に歩き、しかも最後尾もまた、きまった誰かが体をゆさぶりヨチヨチ落後者を守っている風である。

ところが、こうした行軍や外敵の攻撃がなく落ちついた日常生活を見せはじめると、とたんにこんどは隊列をくずし「あれとあれ」「これとこれ」という風にカップルを組み、びつたり寄り添った番の姿が目立ちはじめ、さらにそのカップルの二羽を識別し詳察してみたら、いちばんケンカの強いカップルの誰かが、最も見通しのよい安全かつ陽当りのいい場所を専有して力づくでも、「他人」に渡そうとしない。

また、よく見ると例え眠るときにも群家族、全てが前に伏せからだを休めているのかと思えば、それはちがっていた。小さな彼らであっても、無防備な姿を決してさらけ出さない。必ず一、二羽、誰かがほつり歩哨に立っている。つまり、こうした弱い動物は集まることで、かえって自然界では有利に生きながらえる。これらの集団には必ず強い指導者がいて、ぶらりなんとなくの集団では不利であることをちゃんと心得ているのであろう。そこで、シャチャやアザラシに肉体を喰われようが、「オレ





死別や不慮の災害などによって離別したら、再婚というケースも

依然としてそのリーダーシップは残されたメス一羽で受継ぐことも判ったが、すぐさまその直系の子がオスのカバールをしていることもまた特筆すべき事実であった。

小さな石ころを集めて巣を作り二個の卵をおよそ38日夫婦交互に抱卵するアデリーペンギン。

枯草や石を集めて巣穴に産座を作り二個の卵をこれもおよそ40日、夫婦で抱卵するマゼラン、フンボルトペンギン。

たった一個の卵を足の甲の上に産み、上から暖かな羽ぶとん（インクベーションパッチ。抱卵帯）をかぶせ、ふ化53日間も立ん坊の抱卵を続けるキングやエンペラーペンギン。彼らもまた夫婦交互に抱卵するが、このようにペンギン夫婦の果作りにには幾つかのタイプがある。しかし、何れもそのふ化日数の大半をオスが抱き、その長い抱卵中ほとんど絶食するため、オスの疲労度はきわめて高く、抱卵後病に倒れることがメスよりもオスに多い事実は見のがせない。そして病死のあとメスが残される例がよくあり、そこで再婚問題が彼女にも起こってくるのだ。

〔再婚のこと〕

離婚は性格の不一致とか、なんとか、つまりケンカ別れがその大半だろう。とすれば、ペンギン夫婦には離婚はあり得ない。いったん結ばれたら、確かに死ぬまでの夫婦である。いやこれはペンギンばかりではない。コウノトリ、ハクチョウ、ツル……オスメス揃って抱卵する鳥の全てがそうであるといえる。だが、これが、再婚となればちがう。せまい限られたオリの中、しかも番にさせようとする人為的な作用も加わって、死別したもの、再婚例はやはり幾つかあった。しかも、これが、野生でも、死別や不慮の災害などによって離別した場合、やはり飼育下同様の再婚は予想できるのである。

〔一生涯夫婦のこと〕

さて、そのリーダーが常に強靱なオスなのかと想像すれば、そうではなかった。ペンギン一生涯夫婦の典型といおうか、何れの場合も、二羽の夫婦が共同でしかも寄り添ってリーダーの主役を果たしていることを知ったがさらにまた、不幸にもそのオスが病死したらどうだろう

離婚は性格の不一致とか、なんとか、つまりケンカ別れがその大半だろう。とすれば、ペンギン夫婦には離婚はあり得ない。いったん結ばれたら、確かに死ぬまでの夫婦である。いやこれはペンギンばかりではない。コウノトリ、ハクチョウ、ツル……オスメス揃って抱卵する鳥の全てがそうであるといえる。だが、これが、再婚となればちがう。せまい限られたオリの中、しかも番にさせようとする人為的な作用も加わって、死別したもの、再婚例はやはり幾つかあった。しかも、これが、野生でも、死別や不慮の災害などによって離別した場合、やはり飼育下同様の再婚は予想できるのである。

〈王子動物園学芸員／写真も〉

陽だまりの なかで



服部メガネ店

顕微鏡・天体望遠鏡・航海計器・光学器一般
神戸・大丸前 TEL331-1123

すこやかに たくましく……

五月武者人形



おもちゃの



カメラ

三宮方面でのお買物は…

さんちか店 ファミリータウン 391-4045

三宮店 市街地改造のため仮店舗にて営業中

元町方面でのお買物は…

元町店 元町通3丁目山側 331-0090

パンブウ店 元町通1丁目不二家前 391-0768

神戸駅前方面でのお買物は…

サンこうべ店 神戸駅前地下街 351-6002

◆名作逸品を豊富に品ぞろえ(市内近郊無料配達)

たかはしもう顔見世興行満員御礼



（右上） たかはし・もう笑品展大丸神戸店4階で開くテープカット。左より神戸新聞松井文化事業局長、石野成明・高橋孟・中西勝・北尾神戸大丸店長（右下）アトラクション笑点を描く／ゲスト・福田義文・中西・高橋・足立巻一・今岡順子（左上）ゲスト・古林喜楽・元永定正・花柳芳恵一子・小西保文・司会竹村まこと（右下）踊る上月倫子／ゲスト田辺聖子・カモカのおっちゃんの皆さん

「必死のバッチ」のもうさんであつた。

昨秋、中西勝画伯、元町画廊の佐藤廉氏、本誌小泉康夫編集長などが、今年の三月十三日に五十五才の誕生日と神戸新聞の定年を迎える、ニース漫画家のたかはし・もうさんの出版と展覧会を、何があってもやろうではないかと、もうさんのお尻に火をつけた。あれから約八カ月間、神戸新聞の仕事のかたわらもう、烈な全力投球が始まり「涙してたかはしもうをおだてる会」の地元ファンの強力な応援に乗り、努力に努力を重ね初日を迎えたのである。

十三日朝九時半。大丸神戸店四階展示場で「笑品展」のテープカット。描きまくった神戸っ子百六十人の似顔絵と、「笑点」や「面白半分」「TVタイトル」などの原画が会場狭しと飾られた。午後二時からアトラクションが開かれ、実演「笑点を描く」。地元文化人が、ゲストに招かれてその日の新聞片手に出題し、もうさんが新ネタを元にニースマンガを描き、翌日の朝刊のトップを彩るという趣向。そして招かれたゲストは、



「私はしあわせも
のでございます」
と破顔一笑のたか
はしもうさん

(右上) 昇天祭で宮崎神戸市長のスピーチ (右下) クラブ小万のママ岩本起代子さんの日本舞踊「軍歌」を舞うあて姿。
(左上) ユーハイムコンフェクトからの心づくしのケーキにナイフを入れる高橋孟夫妻 (左下) シャネるのママと田辺聖子・カモカのおっちゃん達

かくし芸大会で日頃作品からは伺えない人間的な面にふれあう。十三日足立巻一、福田義文、今岡頌子、中西勝、河村立司、近藤利三郎、十四日新谷秀紀、堀郁子、佐藤廉、丘あつし、竹村まこと、十七日古林喜楽、元永定正、花柳芳恵一子、小西保文、福岡康年、十八日田辺聖子、川野純夫、夏目俊二、上月倫子さんが友情出演。十五、十六日はこどもマンガデーで賑った。

十二日夜出来上った笑品集の出版記念会は、生田神社会館四階で約二五〇名が集い、宮崎神戸市長を初め、長島市民局長、畑神戸新聞主筆、石野成明、河上民雄、足立巻一、田辺聖子夫妻、北尾信一さんら多彩な先輩、友人が集まり、もうさんの人柄がしのばれた。ことに岩本起代子さんの日本舞踊「軍歌」と東伸一矩さんの「フラメンコ」は印象的。最後はマカンブツサールの美女たちが「阿波踊り」でフィナーレを飾り、阿波出身のもうさんのご兄弟が地方を受けて、踊らにヤソソソと賑やかに幕。

ともにもかくにも、涙しておだてられたもうさんが、海軍時代からのモットー「現在全力投球」で神戸っ子の声援に答えた。もうウィーク。

ホンマに、ごくろはん!

をめぐる 神戸、子達

嘉納 正 治さん

〈白鶴酒造社長・神戸商工会議所副会頭〉“白鶴城”の大邸といった風格である。スポーツはなんでもやりそうな均整のとれた体。『お元気そうですね』『イヤーだめた、年をとると足があかん』と大きな声が聞けっひろげの性格をうかがわせる。



宮崎 辰雄さん

〈神戸市長〉

登山家市長さん。そしてチョットとハニカミ屋の市長さん。そんな気がしながら演壇の市長をスケッチした。私の好きな神戸市をしっかりとたのみます。



岸野 利夫さん

〈シンワ洋装店社長・センター街会長〉

この人の絵はお金になっていたというから、ちょっとこちらは緊張気味、「描きにくいですが」と言ったらワッハッハと笑った。テニスはプロ級だとのこと。「絵が描ける人はなんでもできる人が多いですな」と私。自分も含めたつもりで言った。



柏井 健一さん

〈柏井紙業社長・経済同友会代表幹事〉

社長とは2度目だった。もらった時間が20分間、セッセと時間「バイ」失礼しました。「いや……急がしてスンマヘン」次の客が待っている。





岡部 誠 一さん <そごう神戸店長>

私の時事マンガをよく見ていてくれたのが何より嬉しかった。「私のマンガは魚屋のようなもので、新しいうちに読者に提供するんです」「デパートもあなたと同じですよ」を話合う。時間がなかったのが残念だった。



吉川 進さん <風月堂社長>



岡本一平や北沢楽天さんのファンだったという社長。ていねいに保存しているスクラップ等を見ていたら作者はうれしいものだろう。こんな人は大切にしたいと思った。



福島 里子さん <クラブSのママ>

「いつも招待状をていねいに送ってくれるのに失礼ばかりしてスミセン」「もうさんも忙しいのね」と優しい。この人も絵がわかるからうっかり出来ない。

宮田 喜夫さん <宮田組専務・神戸青年会議所理事長>

描き易い顔だと思いきや許していたら、なかなかどうして手古摺ってしまった。「もたもたして済シマヘン」と時間を気にしたら「いいんです」と氣を楽にしてくれた。



をめぐる 神戸っ子達

石 阪 春 生 さん

〈洋画家・新制作〉

「もうさんは動いとっても描ける、
ワシはあかんねん」「いやいやあんな
の絵と私の絵は値打ちが違うがな」
ウルワシキ友情ではないか。



小 原

豊 雲 さん 〈華道家・小原流家元〉

雑誌のカラページに載せる生花の制作中をスケッチ。
そこにある草木がみんな無駄なくたちまち芸術になって
いくようだ。「動き回ってスナヘンなア」「イエイエ」



行 天

博

志 さん

〈神戸文化ホール〉

キチツとした服装に背を伸ばした姿勢。文化ホールとい
うせいかお役人のおいがしない。



藤 間

緑 寿 郎 さん 〈邦舞家〉

「お願いします」と静かに対座する。後に舞台があるよ
うだ。身に付いたものだなアと思う。





小林 武雄さん〈詩人〉

「わしの顔は描き難いやろ、誰が描いてもあかんねん」と先輩画家の名前を並べられた。そう言われるとだんだん描き難くなるではないか。



連載
もうさん



徳 永 秀 則さん〈作曲家〉

この人は私の作詞した母校の小学校校歌の作曲者である。いい曲だったので母校は大喜びであった。もう5年になる。早いもんだなア。

岡
田

弘さん〈元町画廊〉

いつも意地悪を言う。言われても意地悪に聞こえない間柄。「もうさんワイのウイスキー飲んでけよ」という。



吉
田 量 子さん〈蕎麦屋・於具屋のママ〉

ズバズバツと物を言うカコちゃん。バツバツと商売の手を広げるカコちゃん。それでカッコをつけていくからエライナ!



神戸のアーバンデザイン
 ④
 荻藻島木材団地
 水谷 顕介 + チーム・UR

96

荻藻島木材団地のようす



●住宅の建てられかたや、建築の手法、また木材資源事情の変化によって「木材」「材木」をめぐる状況は大きく変わってきています。だから「材木屋さん」街の活動の内容も様相を変えざるを得なくなっているはず。「資源」の事情は、内地材から外地材への比重の増加、そして最近では、外地材については原木輸入、そしてこちらでの製材ということが産出国の事情でむずかしくなり、先方で製材加工された、いわゆる「製品」のかたちでの輸入という方向が強くなりつつあります。

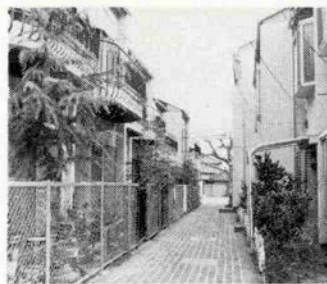
●住宅の建てかたは、大工さんが住宅の注文を受けて、そして材木を自分で買ってきてそれを自分で加工して組立てる、という在来の手法が主流でなくなりつつあります。鉄骨や

コンクリート版のプレハブ工法の影響ももちろんあります。建設会社が自分で材木を仕入れておいてそれを渡して大工さんが加工してコンクリートアパートの内装を仕上げるといったような仕事の流れもだんだん少なくなり、建設業はコンクリート打ちを終えると、内装はあらかじめ加工された部材を責任をもって組立て施工する木材内装屋さんによって渡すというやり方になっています。

●海面貯木、製材、柱材や板材のままの市売り（卸売）といった機能の配置が、「材木屋さん」街の基盤ではなくなりつつあるのです。神戸のこの「木材」街の中味はどう変質していくのでしょうか……。 （水谷 顕介）

魚崎のタウンハウス
④
神戸のモダンリビング

水谷 顕介 + チーム・UR



上 レンガの道と緑の植込み
中上 屋根の上にはあかり窓が
中下 南北に2棟並ぶ
右 北側面



●高架の高速道路がおおいかがぶさった第二阪神国道からちょっと入ったところにこのタウンハウスは建っています。南北にそれぞれ7戸が2棟、計14戸が南棟へのアプローチ道路をはさんでひっついて並んでいます。きゅうくつな巾なのですが、このアプローチ道路がちょっと面白い雰囲気をもっています。舗装がレンガになっていて落着いています。南棟の壁前に、狭いのですが緑のちょっとした植込みもある前庭が走っていて、2棟の棟がまっすぐ平行でなく少しずつずらして配置してあるので視線が変化します。南棟の北側の部屋の窓がすぐ目の前ですが、床近くまで低くとした大きな出窓スタイルになっていて、不透明な網入りガラスがふくらんでいます。入口の戸はプリント合板模様で、特にどうということはないのですが、玄関燈が少しずつ違う何種類かになっているのです。四角いガラスと丸い筒のガラス、白いガラスと黄色の色ガラ

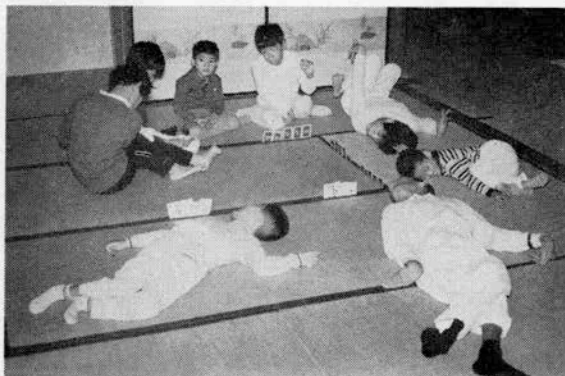
スといった変化です。入口のひさしの上にテントの覆いが出ているところもあります。北棟の南庭も狭いので、これもすぐ目の前ですが引違い戸にはガラス戸が入っていて、中が丸見えにはなりません。まさにいい意味の路地の雰囲気です。

●このタウンハウスの特徴のもう一つは、屋根の上にいろいろな形で飛び出しているあかり窓かもしれません。3階に屋根裏部屋がとってあるのでしょう。あかり窓からの光のとり入れ具合と屋根裏部屋の各戸でのいろいろな使い方の関係をそれぞれのぞいてみたい気にさせる形をしています。ハイカラ趣味のタウンハウスとしては作られていなくて、どちらかというと長屋風になっているこの街区は、道路をへだててすぐお隣りのお寺や南の酒蔵群のある魚崎の町からの影響を知らずと受けてしまったのかもしれません。

(水谷 顕介)

☆神戸を福祉の町に〈16〉

家族住宅つき生涯学級のこころみ



昼休みに畳のへりにトランプを立てて遊ぶこどもたち



お母さんと青空の下で訓練をするみどり学級の生徒たち

芦屋市に「みどり学級」という重度肢体不自由児の特殊学級がある。これまで芦屋市には肢体不自由児のための養護学校がなかったため、昭和42年の4月から芦屋市立精道小学校特殊学級として発足し、市内の重度障害児の教育をおこなってきたが、発足当初からこの学級を担当している富永繁男先生(43)は、みどり学級での経験をもとにして、脳性マヒで寝たきりの生活を余儀なくされている子供たちのために「家族住宅つき生涯学級」構想を考え出し、これの実現のため三年前から芦屋市へ陳情をつづけている。

現在芦屋市では芦屋浜の埋立地に「21世紀のモデル住宅都市」づくりを進めており、完成すれば約六千世帯、人口約二万人の高層住宅街が誕生するわけだが、富永先生のアイデアはこの団地の中層住宅の中に住宅つき生涯学級をつくらうという大変ユニークな計画である。

この構想が生まれた背景にはいろんな事情がある。

まず、重度障害児の教育を地域の養護学校なり特殊学級で行う場合、通学の問題が大変大きな壁となる。一人では通学できない子供の場合は肉親(たいていの場合には母親)が付き添うことになるが、各家庭からスクールバスの乗り場までの距離が遠いのと、天気の良い日や寒い日はバスを待つ間子どもと母親は風雨にさらされてその苦痛は大変なものになり、さらに長時間のスクールバスでの通学は寝たきりの子どもの健康に悪いばかりでなく、硬直した子どもをバスに寄せたり降ろしたりする職員にも腰痛がおそってくる。

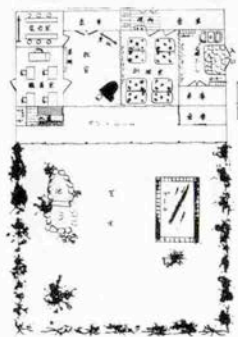
もし付き添いの母親が病気になるったり、用事のある場合は子供は学校を休まねばならなくなってくる。

さらに寝たきりで就職の見込みのない生徒は義務教育を終了してもまた家に閉じこもる以外に生きる道はない。満18才以上の寝たきりの障害者にとって、家庭から通える施設は今の法律にはまだないからである。

こうした点から富永先生はスクールバスで通学せず、すむ「住宅つき生涯学級」案を出したのだが、今までに



中層住宅の下に緑と太陽がいっぱいの住宅つき学級を



1階に予定されている学級予想図

前例がなかっただけに、まだ実現にはいたっていない。

「住宅つき生涯学級」は具体的に言えば、

①生徒の家族住宅を芹屋派の埋立地に建設予定の中層住宅の中に市が分譲住宅（公社）を買い取って公営賃貸住宅として設置すること。

②一般住民との混合率は10%前後にする。それ以上だと一つの集落になり、地域住民との交流が難しくなる。

③この中層住宅の一階に学級を設置して、寝たきりの生徒をエレベーターで通学させ、母親や職員の腰痛を防ぐと共に、地域住民との交流をはかる。

④学級には休日にも生徒たちが集まって利用できる娯楽室をつくり、ここには地域の一般の子どもたちも参加できるようにし、友だちづくりができるようにする。

⑤生徒の家族住宅の風呂、トイレ、玄関は広くし、特別な設計にする。

⑥入居は強制でなく、自宅からも学級へ通学できるよう

にする。

⑦生徒が社会で自立できるまでは、単に就学年令だけで義務教育を終了させないこと。

⑧生徒の定員は15名前後にし、母親と職員の融和をはかるようにする。

というのが案の大筋だが、根本のネライは、社会から切り離されたまま一生を終えることが多い重症児を何とか一般の地域社会のなかで、地域住民との関わりをもたせがら生活させていこうというところにある。

寝たきりの重症児が義務教育終了後に行きつくところといえは結局在宅か、終身保護所的なコロニーというのが現状のようであるが、いずれも社会からは切り離された孤独な世界であり、一般市民からは忘れられた存在のまま一生を終えることになる。したがって重症児の介護も肉親や施設職員だけの手にゆだねられ、介護に疲れてはた親が重症児を思いあまって殺してしまうという悲劇も現実起ってくる。

富永先生の「住宅つき生涯学級」のアイデアは障害者が特殊な孤立した社会をつくるのではなく、一般の市民と隣り合わせの生活をしながらお互いに助け合って生きていこうという、いわば今までの閉ざされた福祉から開かれた福祉へと踏み出す第一歩の青写真なのだ。

コミュニティ・ケアというところが最近よく言われるようになってきたが、現実の社会の中でこれを具体的にどう進めていくかが問題で、一般住民の中にこの住宅つき生涯学級が誕生すれば、その成否がコミュニティケアの一つのモノサシを示してくれるだろう。

厚生省は今年の二月三日の朝日新聞紙上で、この富永先生の案を具体化し、全国に設置すると発表した。

この計画が本当に実施されれば日本の重症児にとって大きなげみとなるばかりでなく、福祉の在り方自体に新しい方向を与えるものとなるにちがいない。

日本に先がけて、阪神間からこういう新しい試みが一日も早く実現されることを心から望みたいものである。



SALON KOBEDAI



『神戸時代』 ちょっと変わった名前ですが、新しい神戸時代を目指した神戸っ子のサロンです。

神戸で最もファッショナブルな北野町、山本通界わいのファッショナブルなサロン——『神戸時代』

神戸っ子の憩いの広場であったり、談論風発のサロンにもなり、ミニパーティがひらかれたり、ミニ発表会が行なわれたり素晴らしい情報交換の場になります。

その神戸時代で、このたび壁面を利用して、SALON 神戸時代ギャラリーを開きます。第1回目は石阪春生先生の日常の写生としての素描をかけさせていただくことになりました。おさそいあわせご鑑賞くださいませ。

SALON
神戸時代ギャラリー

石阪春生 素描シリーズ

3月24日→4月19日

第2回は松本宏小品展をお願いしております。

SALON 神戸時代

神戸市生田区中山手通1丁目28
モンシャトーコートブキビル1F
TEL. 242-3567

●福祉時代の幕開けです。あなたも一冊ぜひどうぞ！
欧米の心身障害者を訪ねて

世界の福祉施設



橋本 明著

ヘカラー八ページ、本文三二〇ページ、定価 一〇〇〇円/送料二二〇円

お申込みは月刊「神戸っ子」編集部まで。

神戸市生田区東町一三の一 大神ビル七階 電話(三三三)二四六

振替口座 神戸四五一九六

◇女流邦楽の第一人者

大和美代葵、珠玉の名集大成！

大和楽全集 名曲の流れ

三弦／大和久満

「大和楽」とは日本の伝統音楽のエッセンスをとり出し、それに現代的な感覚の発声に衣をまとわせ人々に愛唱される様式を試みる新楽派です。

●河／たけくらべ／一葉／祭／あやめ／江島生島他

●発売日 五月二十五日 ●定価 二〇、〇〇〇円

30cm盤ステレオ 十枚組CLS・5182・91

●豪華布貼りカートン・ケース入り

別冊和とじ唄本(歌詞)、解説書付



コロムビアレコード

●ご予約はコロムビアレコード特約店へ